

部門ごと集中審査

意見を付して認定

決算審査特別委員会

9月議会では、平成26年度決算の審査を行いました。決算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（内田和良委員長、佐藤邦夫副委員長）を設置、9月11日から9月19日まで審査し、その結果、いずれも原案のとおり認定しました。

総務部門

質問 万年の森の太陽光発電事業者を選定した評価委員に専門家は入っていたのか。業者決定した配点表は公表できるか。

答弁 太陽光パネルの専門家は入っている。配点表の参加業者の経営に関わる事項も含まれており、公表がふさわしいかどうか検討したい。

質問 万年の森の残土処理には色々な問題があるが議会の議決を経るべきではないか。

答弁 議会の議決を要する案件にはな

らないが、経過をシッカリ検証し議会にお知らせしたい。

質問 胆沢統合中学校敷地問題や万年の森など一連の問題は、職員の定数削減に起因しているのでは。市長はどう捉えるか。

答弁 特定の職員に過度な事務を背負いこまないよう体制づくりと事務量をダウンサイジングしたい。

質問 自治区廃止後の胆沢ダム水源整備基金の活用は。

答弁 活用方法は具体化していないが、提案されている国体関連や観光面への活用など胆沢区のソフト事業として検討したい。

質問 ハードルが高い六次産業化への支援体制は。

答弁 地域おこし協力隊が中心となったNPO法人を立上げ支援をしていく。

質問 今後の少子化対策は。

答弁 平成27年度からは新たな子ども子育て支援計画を策定し、特化した支援をする。結婚支援については、県結婚支援サポートセンターとの連携や財団が支援するお見合いパーティー補助金など、市ホームページ等を通じ情報提供に努めたい。

質問 文化施設等における女子トイレの洋式化を。

答弁 利用者にとって喫緊の課題と捉え前向きに検討したい。

質問 地区センター指定管理に係る力量のアンバランスをどう解消するのか。

答弁 協働フォーラムや研修会を通じて力量を蓄え組織強化を図りたい。

平成26年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

会 計 名		歳 入	歳 出	認定の賛否
一 般 会 計		593億8,827万円	584億 559万円	賛成16、反対9
特 別 会 計		328億1,071万円	320億3,630万円	
内 訳	国民健康保険（事業勘定）	135億7,334万円	129億2,452万円	賛成19、反対6
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	8億1,670万円	8億 452万円	
	後期高齢者医療	11億5,288万円	11億4,974万円	賛成25
	介護保険（保険事業勘定）	103億2,949万円	103億 906万円	賛成25
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1億8,341万円	1億7,111万円	
	簡易水道事業	14億8,226万円	14億1,830万円	賛成25
	下水道事業	32億8,187万円	32億7,100万円	賛成25
	農業集落排水事業	14億8,914万円	14億8,769万円	賛成25
	浄化槽事業	3億3,588万円	3億3,462万円	賛成25
	バス事業	1億5,703万円	1億5,703万円	賛成25
	米里財産区	871万円	871万円	賛成25
		921億9,898万円	904億4,189万円	